



第 47 回日本生化学会北海道支部例会

平成22年7月23日(金)

北海道大学医学部第三講堂

第 47 回日本生化学会北海道支部例会

プログラム

日時:平成22年7月23日(金) 9:15 ~ 18:30

場所:北海道大学医学部第三講堂

9:15-9:20 開会の辞

日本生化学会北海道支部第 47 回例会長・坂口和靖(北大院・理・化)

9:20-9:30 総会

議長:日本生化学会北海道支部長・有賀寛芳(北大院・薬・分子生物学)

〈Session 1〉 座長:高橋 正行(北大院・理)

9:30-9:55 [R-1 総説講演]

p53 誘導性ホスファターゼのスプライシングバリエーションの同定と阻害剤開発

○中馬吉郎¹、八木寛陽¹、栗橋渉¹、梨本健紘¹、吉村文彦²、谷野圭持²、坂口和靖¹

北海道大学大学院・理学研究院・化学部門・¹生物化学研究室、²有機第二研究室

9:55-10:10 [O-1 一般講演]

HNK-1 硫酸基転移酵素はコンドロイチンの非還元末端グルクロン酸の 3 位に硫酸基を転移する

○橋口太志、水本秀二、山田修平、菅原一幸

北海道大学大学院・生命科学院・プロテオグリカンシグナリング医療応用研究室

10:10-10:25 [O-2 一般講演]

耐熱性を有する新規アンモニア酸化細菌の単離ならびにその諸性質

○伊東義兼¹、坂上景子¹、松本光史²、鷺尾健司¹、森川正章¹

¹北海道大学大学院・地球環境科学研究院・環境分子生物学分野、²電源開発株式会社・若松研究所・バイオ研究室

10:25-10:40 [O-3 一般講演]

原始的な脊椎動物ヤツメウナギにおける第 3 の抗原受容体 VLRC の同定

○須藤洋一、笠松純、笠原正典

北海道大学大学院・医学研究科・病理学講座・分子病理学分野

10:40-10:55 [O-4 一般講演]

アダプター分子 STAP-2 と乳癌特異的チロシンキナーゼ Brk による STAT3 活性制御機構の解析

○池田収、水嶋明宏、関根勇一、室本竜太、南保明日香、松田正

北海道大学大学院・薬学研究院・創薬科学部門・衛生化学研究室

10:55-11:05 休憩

=====

【S-1 特別講演】 座長: 畠山 鎮次(北大院・医)

11:05-12:00

生体防御の構造生物学－麻疹ウイルスと免疫制御分子 HLA-G

前仲 勝実

北海道大学大学院・薬学研究院・生体分子機能学研究室

=====

12:15-13:15 [ポスター発表]

=====

〈Session 2〉 座長: 石森 浩一郎(北大院・理)

13:15-13:30 [O-5 一般講演]

マウスにおけるコンドロイチン硫酸特異的加水分解酵素の同定

○宮崎杏、金岩知之、水本秀二、菅原一幸、山田修平

北海道大学大学院・生命科学院・プロテオグリカンシグナリング医療応用研究室

13:30-13:45 [O-6 一般講演]

Molecular chaperone prefoldin blocks the formation of mutant Huntingtin oligomer and inclusion body, resulting in reduction of its cytotoxicity.

○田代絵梨佳^{1,2}、武藤秀樹³、座古保⁴、宮澤誠^{1,2}、北浦廣剛¹、北村朗³、久保田広志⁵、前田瑞夫⁴、金城政孝³、有賀寛芳¹

¹北大・薬、²北大・生命、³北大・先端生命、⁴理研・バイオ工学、⁵秋田大・工学資源

13:45-14:00 [O-7 一般講演]

コンドロイチン硫酸のコアタンパク質への結合領域に対する単クローン抗体の開発とその反応性の解析

○赤津ちづる¹、Duriya Fongmoon^{1,2,3}、水本秀二¹、Jean-Claude Jacquinet⁴、Prachya Kongtawert²、山田修平¹、菅原一幸¹

¹北海道大学大学院・生命科学院・プロテオグリカンシグナリング医療応用研究室、²Chiang Mai University, Faculty of Medicine, Thailand、³Lampang Cancer Center, Department of Medicine, Thailand、⁴Université d'Orléans, Institut de Chimie Organique et Analytique, France

14:00-14:15 [O-8 一般講演]

癌抑制タンパク質 p53 の四量体形成ドメイン変異が四量体形成・転写活性に及ぼす影響

○鎌田瑠泉、野村尚生、中馬吉郎、今川敏明、坂口和靖

北海道大学大学院・理学研究院・化学部門・生物化学研究室

14:15-14:30 [O-9 一般講演]

膜型コレクチン CL-P1 の機能ドメイン解析

○森健一郎¹、大谷克城¹、張成宰¹、本村亘¹、吉田逸朗¹、鈴木定彦²、若宮伸隆¹

¹旭川医科大学・医学部・微生物学講座、²北海道大学・人獣共通感染症リサーチセンター

=====

14:30-14:40 休憩

=====

=====

【S-2 特別講演】 座長:高岡 晃教(北大・遺制研)

14:40-15:35

正常上皮細胞と癌細胞の相互利用—新規な癌治療の開発を目指して—

藤田 恭之

北海道大学・遺伝子病制御研究所・分子腫瘍分野

=====

15:35-15:45 休憩

=====

〈Session 3〉 座長:今川 敏明(北大院・理)

15:45-16:00 [O-10 一般講演]

哺乳動物 Toll-like receptor の分子進化の研究

○三上智子¹、宮下博樹¹、高塚伸太郎²、黒木由夫¹、松嶋範男³

¹札幌医大医学部医学研究科・医化学講座、²札幌医大統合情報センター、³札幌医大医療人育成センター

16:00-16:15 [O-11 一般講演]

ヒストン脱アセチル化酵素 Rpd3(L)とクロマチン因子 FACT による G1サイクリン遺伝子の発現制御機構

○高畑信也^{1,2}、Yu Yaxin²、村上洋太¹、Stillman J. David²

¹北海道大学大学院・理学研究院・化学部門・生物有機化学研究室、²University of Utah, Health Science Center, Department of Pathology

16:15-16:30 [O-12 一般講演]

Prefoldin サブユニット間の発現量調節機構の解明

○宮澤誠^{1,2}、田代絵梨佳^{1,2}、須藤大雄^{1,2}、北浦廣剛²、有賀早苗³、有賀寛芳²

¹北海道大学大学院・生命科学院・分子生物学研究室、²北海道大学大学院・薬学研究院・分子生物学研究室、³北海道大学大学院・農学研究院・環境分子生物学研究室

16:30-16:55 [R-2 総説講演]

大腸菌による短鎖ペプチドの効率的な発現法の開発と構造生物学への応用

○相沢智康、冨澤聡、神谷昌克、菊川峰志、熊木康裕、出村誠、河野敬一

北海道大学大学院・生命科学院・生命融合科学コース

=====

16:55-17:05 休憩

=====

〈Session 4〉 座長:坂口 和靖(北大院・理)

17:05-17:30 [R-3 総説講演]

細胞質内核酸による自然免疫活性化機構

○早川清雄¹、白鳥聡一^{1,3}、大和弘明^{1,4}、亀山武志¹、北辻千展¹、亀岡章一郎^{1,2}、後藤翔平^{1,2}、榎木芙美^{1,2}、数馬田美香¹、佐藤麻衣子¹、大場雄介⁵、宮崎忠明⁶、高岡晃教¹

¹北海道大学・遺伝子病制御研究所・分子生体防御分野、²北海道大学大学院・理学院化学専攻、³北海道大学大学院・医学研究科・血液内科学講座、⁴北海道大学大学院・医学研究科・消化器内科学講座、⁵北海道大学大学院医学系研究科・病態医科学分野、⁶北海道大学・人獣共通感染症リサーチセンター

17:30-17:45 [O-13 一般講演]

バクテリア“Plant-Specific ロイシンリッチリポート”の分子進化

○宮下博樹¹、黒木由夫¹、松嶋範男²

¹札幌医科大学・医・医化学、²札幌医科大学・医療人育成センター

17:45-18:00 [O-14 一般講演]

TRIM8 は PIAS3 を抑制することで STAT3 シグナル経路を亢進する

○奥村文彦、畠山鎮次

北海道大学大学院・医学院・医化学分野

18:00-18:25 [R-4 総説講演]

非筋細胞ミオシン II 尾部の機能領域

○高橋正行、木ト貴之、秀永洋平、村上洋太

北海道大学大学院・理学研究院・化学部門・生物有機化学研究室

18:25-18:30 閉会の辞

日本生化学会北海道支部長・有賀寛芳(北大院・薬・分子生物学)

18:40～

懇親会 北大・百年記念会館内レストラン「きゃら亭」

[ポスター発表] 12:15-13:15

P-01

Spliceosome 構成因子間の相互作用の同定と機能解析

○椎田真史^{1,2}、米田宏²、有賀寛芳²

¹北海道大学大学院・生命科学院・分子生物学研究室、²北海道大学・薬学研究院・分子生物学研究室

P-02

PPM1D ホスファターゼ過剰発現が核小体形成に及ぼす影響

○小境夕紀、八木寛陽、中馬吉郎、坂口和靖

北海道大学大学院・理学研究院・化学部門・生物化学研究室

P-03

TRIM31 結合タンパク質の同定と生化学的解析

○渡部昌、畠山鎮次

北大院医・医化

P-04

RNAi 依存的ヘテロクロマチン制御因子としてのメディエーターの解析

○大屋恵梨子^{1,2}、加藤太陽³、村上洋太¹

¹北海道大学大学院・理学院化学・化学部門・生物有機化学研究室、²日本学術振興会特別研究員-DC2、³島根大学・医学部・病態生化学

P-05

RIG-I を介する自然免疫応答における新たな調節因子の役割

○亀岡章一郎^{1,2}、早川清雄²、白鳥聡一³、大和弘明⁴、亀山武志²、北辻千展²、後藤翔平^{1,2}、
檜木英美^{1,2}、数馬田美香²、佐藤麻衣子²、大場雄介⁵、宮崎忠昭⁶、高岡晃教²

¹北海道大学大学院・理学院・化学専攻、²北海道大学・遺伝子病制御研究所・分子生体防御分野、
³北海道大学大学院・医学研究科・血液内科学分野、⁴北海道大学大学院・医学研究科・消化器内科学分野、⁵北海道大学大学院・医学研究科・病態医科学分野、⁶北海道大学・人獣共通感染症リサーチセンター・バイオリソース部門

P-06

自然免疫核酸認識受容体を介するシグナルの新たな調節因子の作用機序

○後藤翔平^{1,2}、早川清雄²、白鳥聡一³、大和弘明⁴、亀山武志²、北辻千展²、檜木英美^{1,2}、
亀岡章一郎^{1,2}、数馬田美香²、佐藤麻衣子²、大場雄介⁵、宮崎忠昭⁶、高岡晃教²

¹北海道大学大学院・理学院・化学専攻、²北海道大学・遺伝子病制御研究所・分子生体防御分野、
³北海道大学大学院・医学研究科・血液内科学分野、⁴北海道大学大学院・医学研究科・消化器内科学分野、⁵北海道大学大学院・医学研究科・病態医科学分野、⁶北海道大学・人獣共通感染症リサーチセンター・バイオリソース部門

P-07

p53 誘導性ホスファターゼ PPM1D 阻害剤における特定に配向する疎水性部位

○八木寛陽¹、中馬吉郎¹、吉村文彦²、谷野圭持²、坂口和靖¹

¹北海道大学大学院・理学研究院・化学部門・生物化学研究室、²北海道大学大学院・理学研究院・化学部門・有機化学第二研究室

P-08

カルシニューリン結合タンパク質、CaNBP75 と RanBP3 によるカルシニューリンの活性および細胞内局在の調節

○大畑謙太¹、佐々木圭¹、日野浩嗣¹、中富晶子²、矢澤道生²、村上洋太²

¹北海道大学大学院・理学院・化学専攻・生物有機化学研究室、²北海道大学大学院・理学研究院・化学部門・生物有機化学研究室

P-09

呼吸鎖末端複合体における電子伝達機構の解明：多次元 NMR を用いたシトクロム c の構造解析

○今井瑞依¹、井上郁²、野本直子²、内田毅²、新澤(伊藤)恭子³、吉川信也³、石森浩一郎²

¹北大・院総合化学、²北大・院理、³兵庫県立大・生命理学

P-10

NMR による TPI-LPS 複合体の立体構造解析

○櫛引崇弘¹、神谷昌克¹、相沢智康¹、熊木康裕²、菊川峰志¹、出村誠¹、川畑俊一郎³、河野敬一¹

¹北海道大学・大学院生命科学院、²北海道大学・大学院理学院、³九州大学・大学院理学研究院

P-11

ハロロドプシン膜外ループの固体 NMR 法による構造解析

○田巻初¹、樋口真理花¹、江川文子²、藤原敏道²、神谷昌克¹、菊川峰志¹、相沢智康³、河野敬一³、出村誠¹

¹北海道大学大学院・生命科学院・生物情報解析科学研究室、²大阪大学・蛋白質研究所・機能構造計測学研究室、³北海道大学大学院・生命科学院・蛋白質科学研究室

P-12

抗菌ペプチド human defensin 5 前駆体の大量発現とその解析

○緒形友美¹、相沢智康¹、坂井直樹¹、神谷昌克¹、菊川峰志¹、熊木康裕²、出村誠¹、綾部時芳¹、河野敬一¹

¹北海道大学・大学院生命科学院、²北海道大学・大学院理学院

P-13

アンモニア酸化細菌のアンモニア酸化活性に影響を与える従属栄養細菌

○坂上景子¹、伊東義兼¹、松本光史²、鷲尾 健司¹、森川正章¹

¹北海道大学大学院・環境科学院・生物圏科学専攻、²電源開発株式会社・若松研究所

P-14

非筋細胞ミオシン II の C 末端領域の構造と役割

○秀永 洋平¹、二宮 今日子¹、梅田 泰裕¹、相沢 智康²、村上 洋太¹、高橋 正行¹

¹北大・院・理・化学、²北大・院・先端生命科学・先端生命分子科学

P-15

癌抑制タンパク質 p53 四量体形成と転写活性の細胞内定量的解析法の構築

○敦澤隆介、大島祥吾、今川敏明、坂口和靖

北海道大学大学院・理学研究院・化学部門・生物化学研究室